



Data

監督: ウ・ミンホ
 原作: キム・チュンシク『実録 KCIA
 『南山と呼ばれた男たち』
 (ポリティクス刊、講談社
 刊)
 脚本: ウ・ミンホ/イ・ジミン
 出演: イ・ビョンホン/イ・ソンミ
 ソン/クァク・ドウォン/イ・
 ヒジュン/キム・ソジン

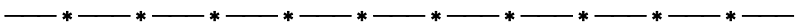
👁️👁️ みどころ

日本では、部長は局長の下、課長の上だから、社長には程遠い地位。しかし、南山にある KCIA (韓国中央情報部) のトップは部長だから、“南山の部長” ことキム部長は大統領に次ぐ NO. 2 の権限を！

長期政権は腐敗するもの。1979年10月26日に起きた朴正熙大統領射殺事件の原因は？ 明智光秀が「本能寺の変」を起こしたのはなぜ？ 織田政権の NO. 2 だった光秀は、主君と共に「麒麟がくる国」を目指したのでは？

キム部長は共に軍事クーデターで決起した同志だから、キム部長と大統領の絆は中途採用の光秀と信長以上だったはず。それなのに一体なぜ・・・？

『ユゴ 大統領有故』(06年) も面白かったが、本作も面白い。ちなみに、謀反後のキム部長の政権構想と光秀の政権構想を比べてみると・・・？



■□■ KCIA とは？南山の部長とは？原作は？ ■□■

アメリカに CIA (中央情報局) あれば、韓国には KCIA (韓国中央情報部) あり！日本にはそれらに相当する国家組織としての諜報機関がないから、かつての『陸軍中野学校』シリーズ (66年、67年、68年) 以外に「スパイもの」の名作が少ないのは仕方ない。第7回ベネチア国際映画祭で銀獅子賞 (最優秀監督賞) を受賞した黒沢清監督の『スパイの妻』(20年) は面白かった (『シネマ47』53頁) が、これは本格的な「スパイもの」ではなかった。すると、2020年韓国年間興行収入ランキング第1位となり、第93回アカデミー賞長編映画賞の韓国代表作品とされた本作は「スパイもの」？ そう思ったが、さにあらず。本作は、1979年10月26日に起きた「朴正熙大統領暗殺事件」を描くもので、イントロには「豪華キャスト共演で史実をもとに描く歴史の闇」と書かれている。朴正熙大統領暗殺事件をテーマにした名作は、「韓国の大島渚」と呼ばれる「386

世代」のイム・サンス監督の『ユゴ 大統領有故』（06年）（『シネマ16』126頁）だが、ウ・ミンホ監督はなぜ同じネタで本作を？

本作は、1990年から26ヶ月にわたって東亜日本に連載された記事をまとめたキム・チュンシクのノンフィクション「実録KCIA『南山と呼ばれた男たち』」を原作としている。そして、同原作は、朴正熙による1960～1970年代にかけての18年間にわたる独裁政権の中心にいたのがKCIAだったという視点から書かれているらしい。つまり、彼らについて書かれた記事は1本もなかった時代、彼らについて書かないことは記者として正当な義務を放棄していることになるのではないか？そんな思いでキム・チュンシクが書いた著書が本作の原作になったわけだ。なるほど、なるほど。

他方、KCIAは韓国中央情報部だから、そのトップは部長。部長といえば日本では局長の下、課長の上という地位で、社長にはまだまだの地位だが、KCIAではそのトップは部長だ。しかして、本作の主役となる第8代KCIA部長、キム・ギュピョン（実際の人名はキム・ジュギュ）部長を演じるのは、日本でもおなじみの名優イ・ピョンホンだが、なぜ、タイトルは「部長たち」と複数になっているの？それは、冒頭から元（正確には第4代）KCIA部長のパク・ヨンガク（実際の人名はキム・ヒョンウク）（クァク・ドウオン）が登場するからだ。なるほど、なるほど。

■□■ 18年間の長期政権の是非は？その独裁ぶりは？ ■□■

日本で総理大臣に就任した麻生太郎も安倍晋三も2世議員、3世議員だが、日本の議院内閣制は明治から約150年間続いているから、当然それもあり。しかし、朝鮮戦争終結から間もない1961年の軍事クーデターで権力を握り、1963年から1979年まで、5代から9代にわたって大統領職を続けた朴正熙が稀有な例なら、その娘である朴槿恵が第18大統領として、父娘2代にわたって大統領になったのは、更に稀有な例だ。

現在KCIAの部長としてパク大統領（イ・ソンミン）を“閣下”と呼んで敬い、“閣下”の下で忠実に働いているキム部長は、1961年の軍事クーデターの時以来の側近らしい。現在、韓国では“検察改革”が大問題になっているが、当時のKCIAの部長は、大統領に次ぐ権力を持っていたらしい。もちろん、本作に見るパク大統領もキム部長もスーツ、ネクタイ姿だが、2人とも元軍人だから、ホントは軍服姿の方が似合うのかも。日本では、安倍晋三政権がそれまでの最長政権だった佐藤栄作政権の2798日を抜いて、2822日という歴代最長になったが、その途端に持病の潰瘍性大腸炎の再発のために辞任したのは皮肉だ。

それはともかく、安倍晋三の2822日（7年8カ月）と比較しても、朴正熙が第5代から第9代まで17年間も大統領職を続けたことにビックリ。今はロシアのプーチン政権がいつまでの長期政権になるのかと、中国の習近平政権が2期10年と定めた憲法を改正し、いつまでの長期政権になるのかが注目されているが、それと比べても大統領職17年はすごい！もっとも、そんな長期政権には腐敗が付きものだが・・・。

本作冒頭、アメリカの下院の聴聞会でパク・ヨンガク元 KCIA 部長が証言するシークエンスが登場するが、これは一体ナニ？トランプ政権下で、国家安全保障問題担当大統領補佐官職にあったジョン・ボルトンが回顧録を出版して大反響を呼んだが、どうやら米国に亡命していたパク・ヨンガクも、パク大統領の腐敗を告発する回顧録を執筆しているらしい。そして、今日は聴聞会でその内容を証言するらしい。パク大統領がそれに激怒し、キム部長に回顧録の回収を含む事態の收拾を命じたのは当然だが、果たしてそんなことができるの？

■□■この2人の絆は織田信長と明智光秀以上！？■□■

2020年のNHK大河ドラマ『麒麟がくる』は、新型コロナウイルスのため中断を含む不規則な放送になったが、残りはいよいよ1月30日と2月7日の2回のみになった。いうまでもなく、最終回がクライマックスの「本能寺の変」だが、なぜ明智光秀は織田信長に謀反したの？それについては、①「信長に対する恨み」、②「突発的な犯行」、③「将軍・足利義昭が黒幕」、④「四国政策を巡る対立」の4説があるが、光秀を主人公にし、『麒麟がくる』という前向きなタイトルにした同ドラマは、この4説とは違う独自の解釈で光秀の謀反を描くはずだ。毎回ずっと見ている私の予想では、その理由は、初心を忘れて間違った道に入り込み、いくら諫めてもそれを修正しない主君・織田信長をやむを得ず殺し、それまでお互いの理想としてきた「麒麟がくる国」を信長に代わって自分が打ち立てるといものだろうが、さて・・・？

足利幕府の権威をバックに軍事政権を強化していった信長にとって、将軍や公家、更に天皇にも信頼されていた光秀は、秀吉以上に有能な部下だった。しかし、光秀はあくまで上洛を狙う信長が中途採用した武将の1人にすぎないから、1961年の軍事クーデターを共に命がけて決行した、いわば同志ともいえるパク大統領とキム部長の関係よりは弱い。逆に言えば、パク大統領とキム部長の関係は今こそNO.1の大統領とNO.2のKCIA部長という序列になっているものの、心情的には「我らは同志」という関係なのだ。したがって、パク大統領キム部長の絆は、信長と光秀以上に固いはずだ・・・。

■□■「忠臣」と「提灯持ち」、どちらを重用？■□■

本作に見るパク大統領は独裁色が強く、ある意味で部下をいくらでも使い捨てにするワガママな大統領だが、時折キム部長に対して見せる“人間性”を見ていると、2人の信頼と絆の固さをうかがい知ることができる。そうであるからこそ、キム部長は“同志”として、そして、NO.2の「忠臣」としてパク大統領に対して諫言をし、路線の修正を求め、「そろそろ退陣の準備を」とまで言おうとしていたわけだ。

『麒麟がくる』で、明智光秀の対極に置かれている人物は佐々木蔵之介演じる羽柴秀吉だが、本作でキム部長の対極に置かれるのは、警護室長のクァク・サンチョン（イ・ヒジュン）と、秘書室長のキム・ケフン（パク・チイル）。もちろん、光秀は信長の提灯持ちばかりではなかったが、本作に見るクァク警護室長とキム秘書室長はパク大統領の典型的な

提灯持ち。腐敗した権力にはこの手の提灯持ちが集まるのは常だが、パク大統領はそれをどこまでわかっているの？信長が側近の武将に対して与える指示は簡潔かつ明確だったが、本作に見るパク大統領は「君のそばには自分がついている。好きにしろ」と命じるだけ。これは聞き方によっては大きな裁量権を与えたようだが、実は、うまくいけば大統領の成果、失敗すれば、「その責任は君にある」という意味のようだから、アレレ・・・。

キム部長はパク大統領から命じられたとおり、パク・ヨンガクから回顧録を回収することには成功したが、想定に反してパク・ヨンガクは聴聞会での証言を執行したから、キム部長はパク大統領から大目玉を食らうことに。光秀もストーリー後半からはあれやこれやの失敗を信長から責められていたが、キム部長も大目玉が続くことになると・・・？さらに、なお一層クアク警護室長やキム秘書室長が重宝されていくことになると・・・？

■□■こんな非情な命令まで実行したのに・・・■□■

鬼のように非情な心を持ち、目的のためには手段を選ばない織田信長にとっては、比叡山を攻略するについて、僧兵のみならず、女子供まで皆殺しにすることが平気なら、信長を裏切り、有岡城に立てこもった荒木村重を、攻め落としたうえその一族郎党を根絶やしにするのも平気だった。しかし、心根の優しい光秀にとっては、いかに主君の命令（厳命）とは言え、そんな非道な殺戮をすることに心を痛めたのは当然だ。民主主義の時代ならそんな光秀の意見も自由に表明できるし、立憲民主党の蓮舂衆議院議員のように、一野党議員が時の総理大臣に対して何とも無礼な質問をすることも可能だが、あの時代ではいくら有能な部下でも、主君に対してどこで諫言できるかは難しいものだった。しかも、仮に意見を言ったとしても、それが却下されれば泣く泣く主君の命令を実行するしかない。しかし、そんなことが1度ならず、2度、3度と続くと・・・？

キム部長がそんな思いをすることになったのは、フランスに渡っていたパク・ヨンガクの暗殺を実行した時。本作では、アメリカでもフランスでもロビイストとして活躍（暗躍）しているスレンダー美女、デボラ・シム（キム・ソジン）が大きな役割を果たしている。ちなみに、バイデン政権が始動し始めた今、米国と日本、韓国の関係がどうなるのかはかなり微妙だが、1979年当時のアメリカのカーター政権とそのスタッフにとっても、朴正熙大統領が独裁を続けている韓国との距離感は、かなり微妙だったらしい。本作には第11代駐韓米国大使ウィリアム・グライスティーン（ジェリー・レクター）が登場し、キム部長から頻繁に情報提供を受けている姿が描かれるが、そこでのキム部長に誠実さはあまり見られない。したがって、米国の聴聞会にとっては、KCIAのキム部長とは連絡を取っているものの、彼がどの程度、正確に情報を提供しているかは不明だ。そんな米国の聴聞会でパク大統領に不利な証言をしたパク・ヨンガクが、フランスで行方不明になったと聞いたとき、真っ先に疑ったのがKCIAによる犯行説だが、そんな質問に対してキム部長はどのような回答を？

“元 KCIA 部長、パク・ヨンガクを消せ。” そんな非情な命令まで俺は涙を呑んで実行し

たのに、それに対するパク大統領の見返りは？キム部長が明智光秀と同じように、そう考えたのは当然だが・・・。

■□■内輪だけの会食はどこで？女性も同席？■□■

コロナ禍で「ステイ・ホーム」が叫ばれ、緊急事態宣言が発令される中、国会議員が銀座のクラブへ！さすがに、「これも仕事だ！」とは言えないこのセンセイは謝罪し、役職を辞任したが、パク大統領は大統領府の中に内輪だけで会食をする場所を持っているらしい。それは『ユゴ 大統領有故』でも描かれていたが、本作でもクライマックスに向けてその会食の席が映し出されるので、それに注目！出席者はパク大統領の他は、側近であるクァク警護室長とキム秘書室長、そしてKCIAのキム部長の3人。もっとも、クァク警護室長とキム秘書室長は同日のヘリコプターに乗っての地方視察にも同行していたが、キム部長はそれを外されていた。したがって、そのこともこの日の会食の席でキム部長がパク大統領の射殺を実行した1つの理由になっていたようだ。

他方、政治とも権力闘争とも、ましてや大統領射殺とは無関係ながら、興味深いのはこの会食の席に若い女性が同席しているうえ、1人はギターを弾きながらある曲を歌うこと。この歌が何かは本作では明示されないが、『ユゴ 大統領有故』を観た私にはこれがシム・スポンの「その時その人」という曲だということがわかる。パク大統領は別のシーンでもこの歌を歌っていたから、よほどこの曲がお気に入りらしい。今日はそんな内輪だけの食事会だが、側近として重宝されているクァク警護室長とキム秘書室長、そして大統領が大好きな女性歌手のシム・スポンの3人は当然として、近時大統領への不満ばかり述べているキム部長がなぜこの席に呼ばれたの？『麒麟がくる』と同じようにその点は明確にされず、キム部長によるパク大統領射殺の理由は結局1人1人の観客の解釈に委ねられているようだ。しかし、少なくともこの日のパク大統領射殺が、思い付きとは言えないまでも、事前に十分検討し、準備したものではないことは確かだから、その点はしっかり鑑賞したい。

もっとも、単なる思い付きではないとは言え、ここで不可解なのは、キム部長がぶっ放した拳銃の中に弾が十分に入っていなかったこと。幸いパク大統領を撃った一発目の弾は入っていたが、とどめを撃つための弾が出てこないとは一体何？『ユゴ 大統領有故』ではそんな状態は描かれていなかったが、キム・チュンシクの原作におけるその点の記述はどうなっているの？

■□■大統領射殺後の政権構想は？■□■

2021年2月1日付夕刊は、一斉にミャンマー国軍が実行した軍事クーデターのニュースを伝えた。クーデターの理由は、2020年11月の総選挙（上下院選挙）で、有権者リストに多数の不備があり、不正の可能性があるというものだが、その正当性は疑わしい。アメリカをはじめ西側諸国はこれを批判し、アウン・サン・スー・チー国家顧問兼外相の即時釈放を求めている。そんな中、ミャンマー国軍は国軍系テレビを通じ、緊急事態

宣言下で国家を統治する最高機関の設置を発表した。これは、国軍主導の新体制を宣言したものだ。

また、坂本龍馬が暗殺されたのは1867年12月10日だが、彼が「船中八策」を発表したのは1867年6月。これも、立派な徳川幕府を倒したのちの新政権構想だ。さらに、「麒麟がくる」は2月7日に最終回の「本能寺の変」を15分拡大版で放映するが、ここでは、信長を討ち取った後の光秀の新政権構想がどこまで描かれているかが興味深い。歴史上の事実としては、「本能寺の変」の直後、想像もつかないスピードで、秀吉が「中国大返し」を成功させて光秀を討ち取ったため、光秀の新政権構想は日の目を見なかった。しかし、信長に代わって光秀が新たな覇者となった場合、光秀が「麒麟がくる国」をつくるための政権構想を持っていたことはさまざまな資料から明らかになっている。それらに比べて、キム部長が大統領射殺後に描いた政権構想は？

本作に見るキム部長は、当初は冷静沈着さが最大の特徴（魅力）だが、後半に一度だけ発生するクァク警護室長との罵り合い、取っ組み合いを見ていると、アレレ、韓国人はこのレベル？とつい疑ってしまうほど激情的。さらに、大統領の射殺という“大事”を実行するについて肝心の冷静沈着さがあまり見られず、むしろ狼狽気味だから、アレレ。そして、肝心の新政権構想に目を転じると、本作に見るキム部長は、どうやら参謀総長（キム・ミンサン）と相談して決めるとしか考えていなかったようだから、アレレ？十分な新政権構想を持たないままパク大統領の射殺だけを先に決行したとすれば、それはあまりにお粗末と言わざるを得ない。

本作ラストでは、自らの裁判の最終陳述で彼が語る言葉が流されるが、それは自己の信念を述べているだけだから、私には不満。やっぱりパク大統領の方が、キム部長よりよほど器が大きく、キム部長は所詮NO. 2止まりだったのかも・・・？そう考えると、現在の日本の総理大臣は・・・？

2021（令和3）年2月3日記